

## 柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉

### 敷地の地質・地質構造について 【F<sub>2</sub>, F<sub>3</sub>断層データ集】

---

平成28年12月19日  
東京電力ホールディングス株式会社

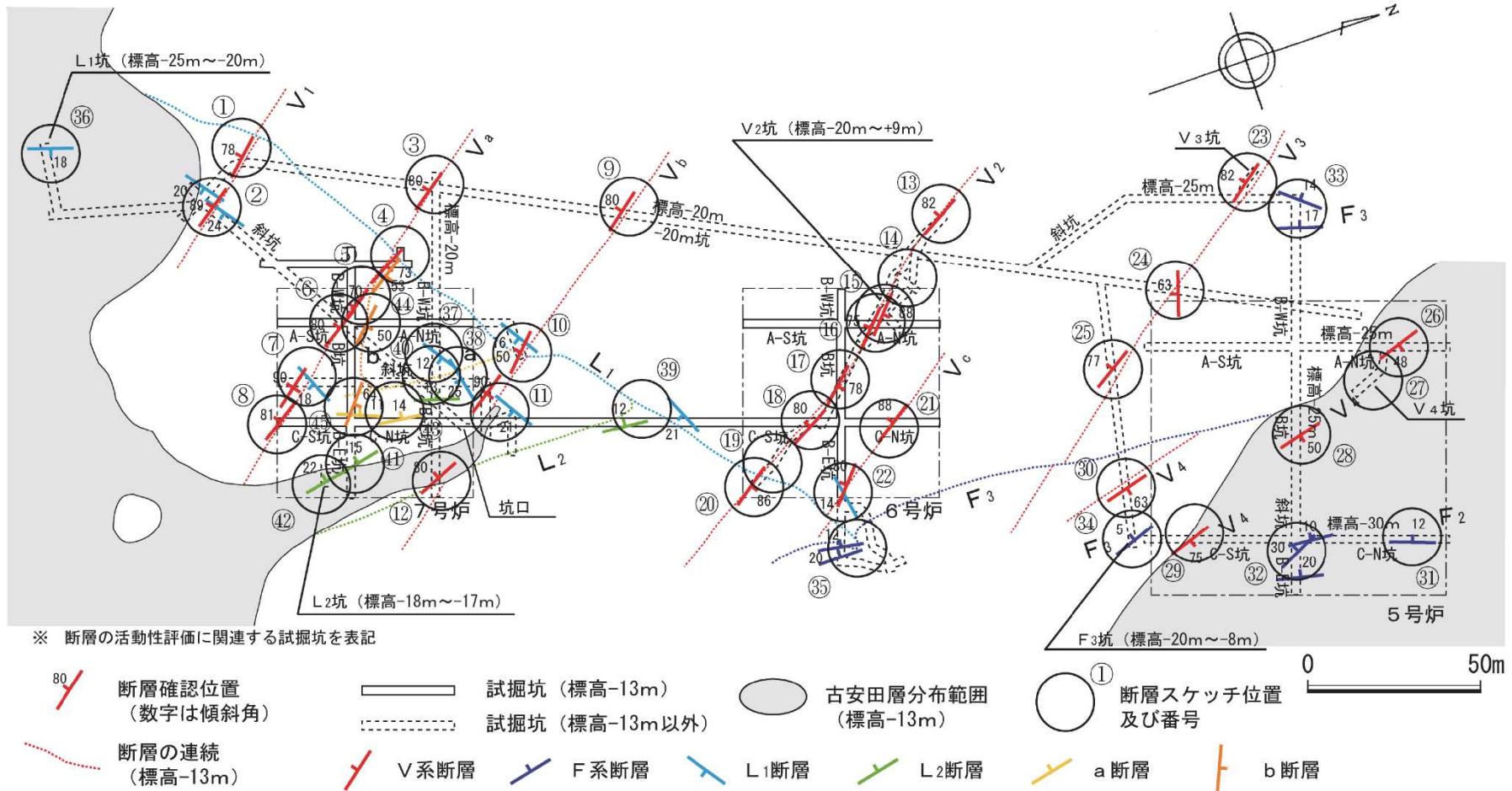
# 大湊側の西山層中に分布する断層の性状及び活動性

大湊側の西山層中に分布する断層の性状及び活動性

分類	断層名	走向傾斜	破砕帯の規模		変位		切り合い関係	活動時期	備考
			粘土幅 (cm)	破砕幅 (cm)	センス	変位量 (m)			
V系断層	V <sub>1</sub> 断層	N32W83W	f~0.3 [f]	0~4 [1]	-	-	L <sub>1</sub> 断層に切られる。	破砕帯の規模、変位量及びF系断層との切り合い関係から、V <sub>2</sub> 断層を大湊側V系断層の代表と判断。 V <sub>2</sub> 断層は、V <sub>2</sub> 坑及びV2立坑において古安田層に変位・変形を与えていない。	砂岩薄層を基準とした変位量は約2.5m。
	V <sub>2</sub> 断層	N29W86W	f~0.5 [f]	0~20 [2]	正	約3.8	F <sub>3</sub> 断層、F <sub>4</sub> 断層と切り切られの関係にある。		粘土幅・破砕幅は6・7号炉試掘坑調査による。
	V <sub>3</sub> 断層	N38W82W	0.1~1.5	1~10	正	約3.8	F <sub>3</sub> 断層に切られる。		
	V <sub>4</sub> 断層	N10W48E	0.1~0.5	1~15	正	約2.0	F <sub>3</sub> 断層に切られる。		
	V <sub>a</sub> 断層	N31W83W	f~0.2 [f]	0~9 [1]	正	1.1	L <sub>1</sub> 断層に切られる。		近傍に同系の断層が分布し、合計の変位量は1.35m。
	V <sub>b</sub> 断層	N28W84W	f~0.1 [f]	0~6 [1]	正	約1.8	L <sub>1</sub> 断層に切られる。		近傍に同系の断層が分布し、合計の変位量は約3.0m。
	V <sub>c</sub> 断層	N30W90	f~0.3 [f]	0~10 [3]	正	0.8	L <sub>1</sub> 断層に切られる。		
F系断層	F <sub>2</sub> 断層	N 5E15W	f~0.5	1~10	-	-	-	破砕帯の規模及び連続性から、F <sub>3</sub> 断層を大湊側F系断層の代表と判断。 F <sub>3</sub> 断層は、F3立坑において古安田層に変位・変形を与えていない。	
	F <sub>3</sub> 断層	N7E17W	f~5 [1.9]	0~17 [8]	逆	-	L <sub>1</sub> 断層が合流し変形を受けている。 V <sub>2</sub> 断層と切り切られの関係にある。 V <sub>3</sub> 断層、V <sub>4</sub> 断層を切る。		変位センスはV <sub>3</sub> 断層を基準。 データは試掘坑本坑 (A坑, B坑, C坑) による。 粘土幅・破砕幅の平均値は6・7号炉試掘坑調査による。
	F <sub>4</sub> 断層	-	0~5	0~20	-	-	V <sub>2</sub> 断層と切り切られの関係にある。		破砕帯の幅はボーリング調査による。
L <sub>1</sub> ・L <sub>2</sub> 断層	L <sub>1</sub> 断層	N67E18S	0~1.6 [0.2]	0~85 [15]	正	約9.0	V <sub>1</sub> 断層、V <sub>a</sub> 断層、V <sub>b</sub> 断層、V <sub>c</sub> 断層を切り、a断層、b断層、L <sub>2</sub> 断層を分岐し、F <sub>3</sub> 断層を変位・変形させ、合流している。	L <sub>1</sub> 坑及びL1立坑において、古安田層に変位・変形を与えていない。	変位量は断層面沿いの落差。鉛直変位量は約2m。
	L <sub>2</sub> 断層	N10E13W	f~0.3 [f]	0~65 [7]	逆	-	L <sub>1</sub> 断層に合流する。		L <sub>2</sub> 坑において、古安田層に変位・変形を与えていない。
a・b断層	a断層	N9E13W	f~0.2 [f]	0~31 [3]	逆	-	b断層を分岐し、L <sub>1</sub> 断層に合流する。	施工時に掘削・除去。	
	b断層	N55W53N	f~0.2 [f]	4~77 [28]	横ずれ	-	a断層、L <sub>1</sub> 断層に合流する。		

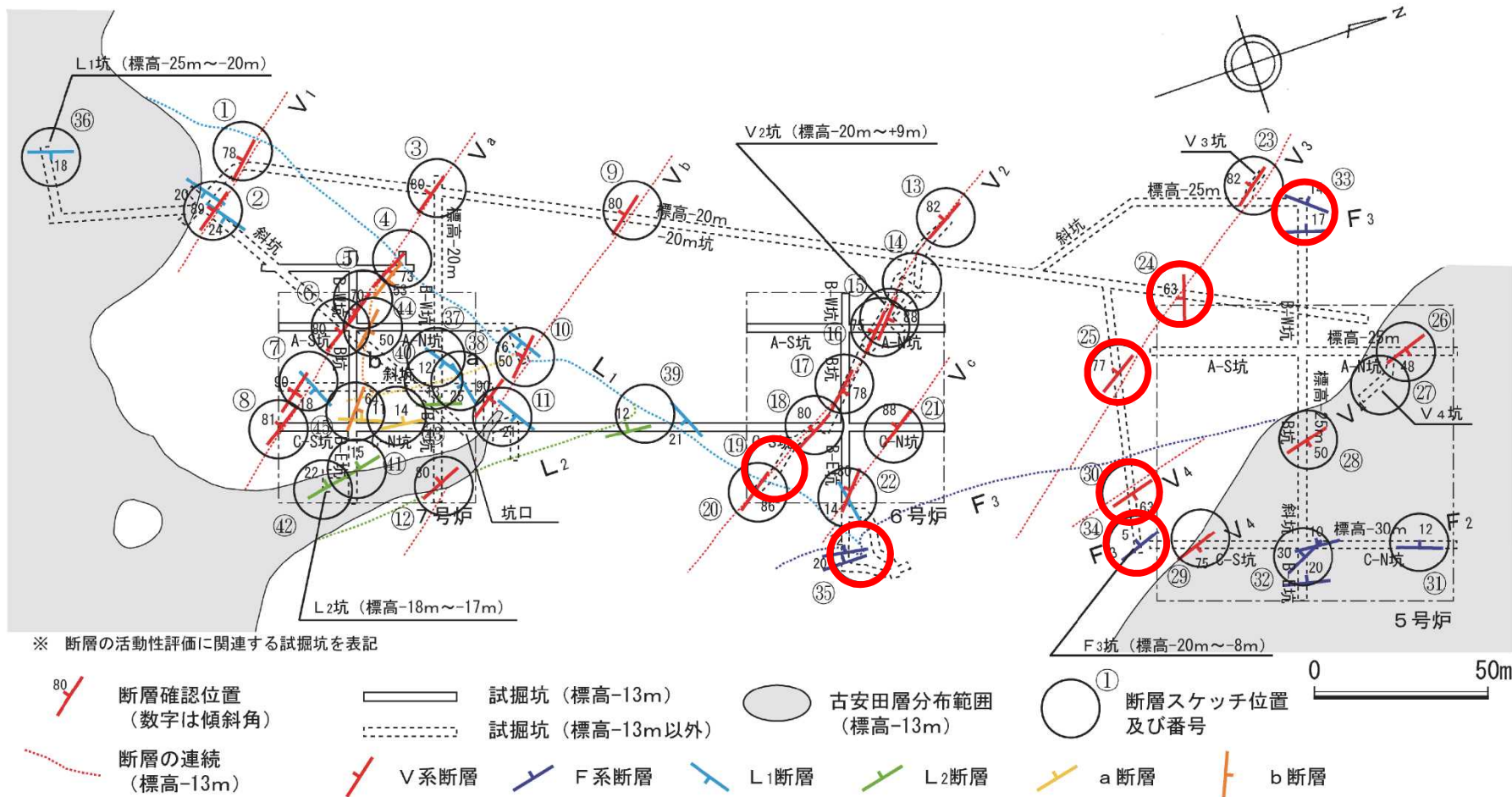
※断層の走向は偏角補正済  
[ ]の数値は平均値  
f:フィルム状

# 試掘坑調査による断層確認位置



試掘坑調査による断層確認位置図

# 断層スケッチ位置 (F<sub>3</sub>断層)



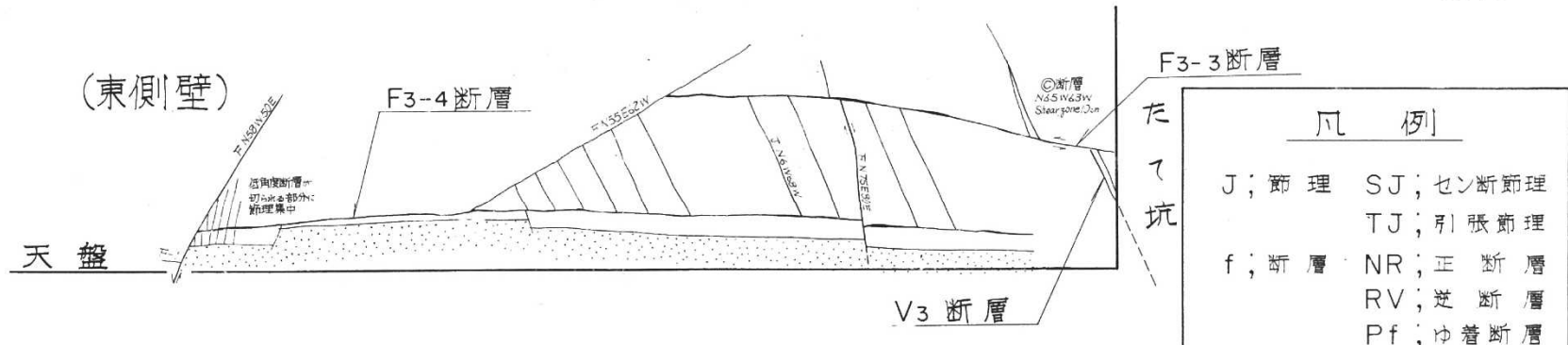
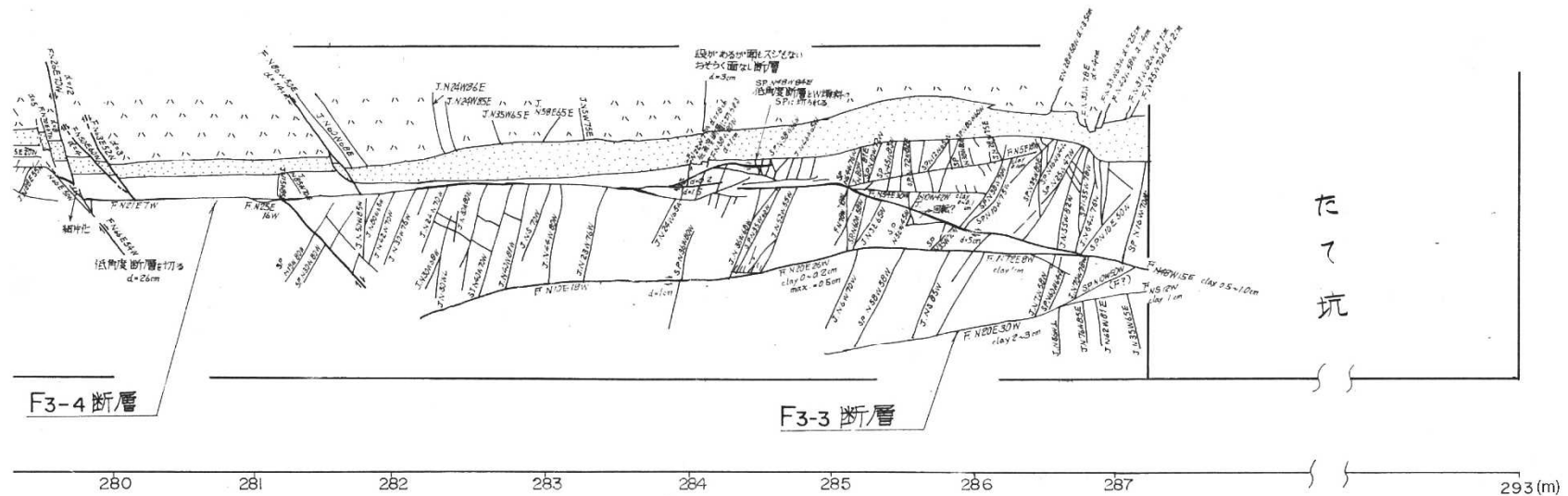
試掘坑調査による断層確認位置図





# 断層スケッチ位置 24

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.42抜粋



F <sub>3</sub> 断層	
粘土幅 c (cm)	破碎幅 s (cm)
0.5~1.0	—

たて坑

凡例

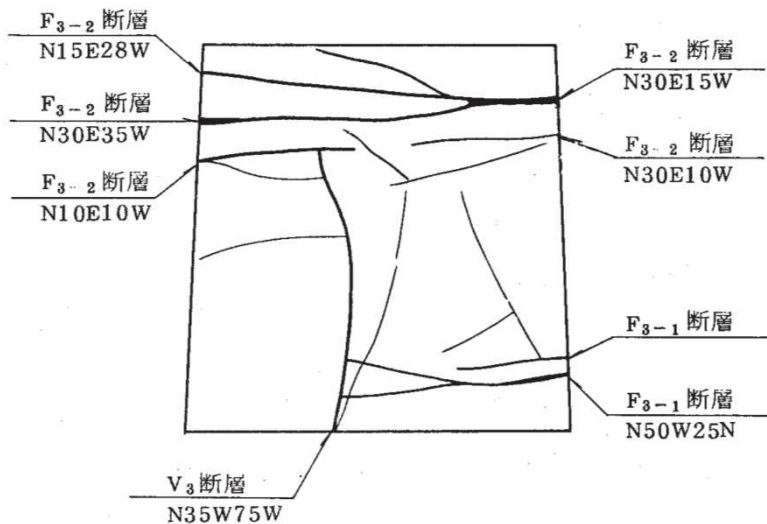
J; 節理    SJ; セン断節理  
 TJ; 引張節理  
 f; 断層    NR; 正断層  
 RV; 逆断層  
 Pf; ゆ着断層

// ; 上下盤の移動方向

凝灰岩  
 砂岩  
 泥岩

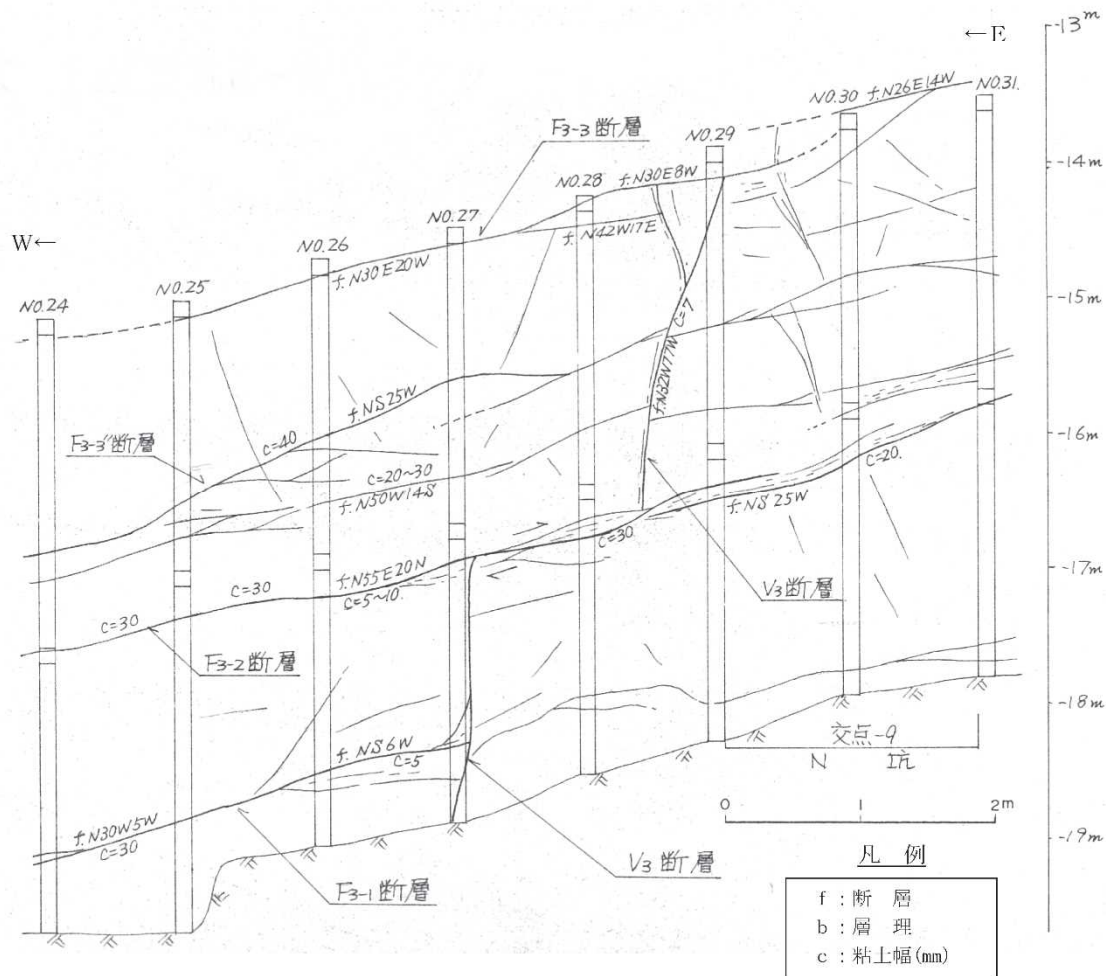
V<sub>3</sub> 断層と F<sub>3</sub> 断層の関係 (-20m 坑東側壁)

# 断層スケッチ位置 25



V<sub>3</sub> 断層とF<sub>3</sub> 断層の関係 (F<sub>3</sub> 坑28 基目切羽)

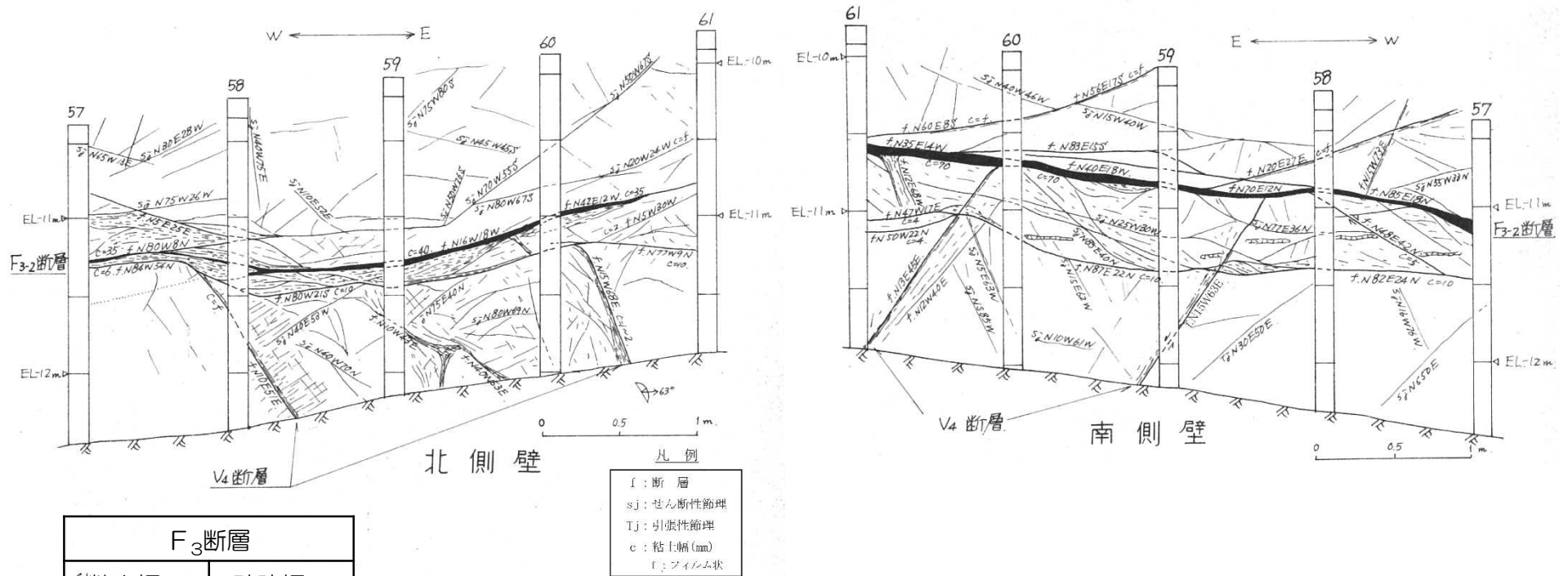
F <sub>3</sub> 断層	
粘土幅 c (cm)	破碎幅 s (cm)
0.5~4.0	—



V<sub>3</sub> 断層とF<sub>3</sub> 断層の関係 (F<sub>3</sub> 坑北側壁)

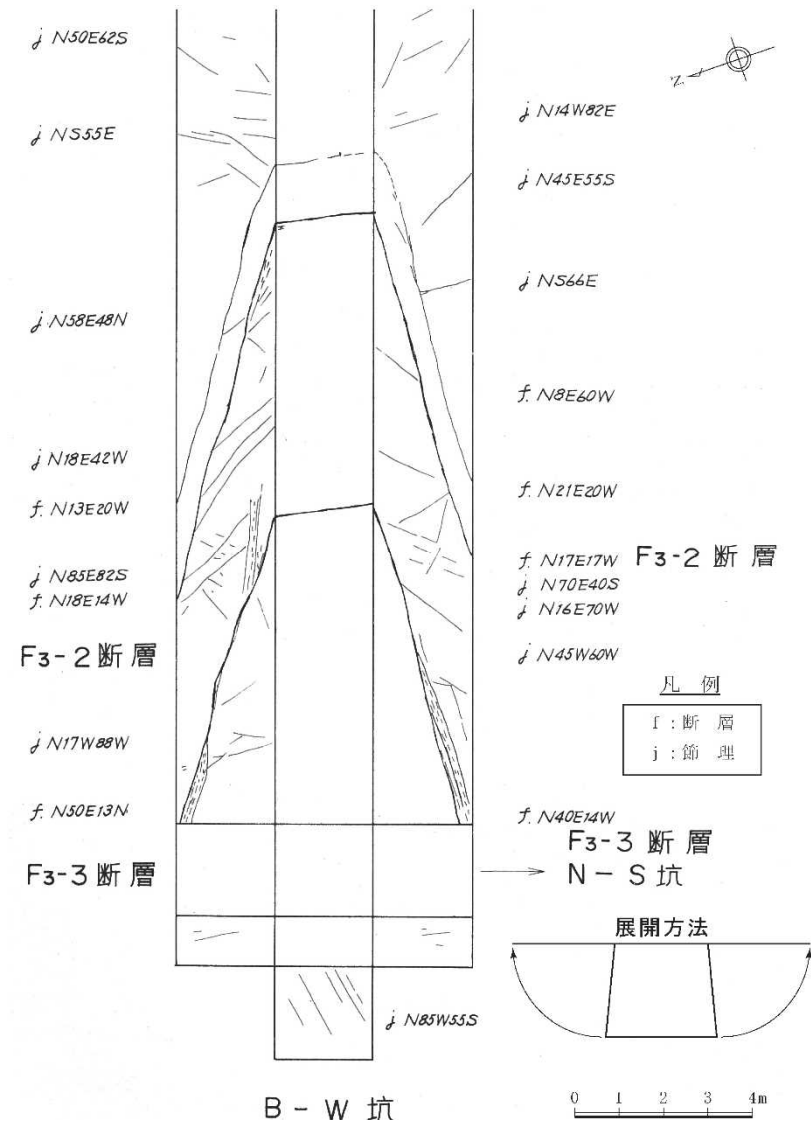


# 断層スケッチ位置 30



V<sub>4</sub>断層とF<sub>3</sub>断層の関係 (F<sub>3</sub> 坑)

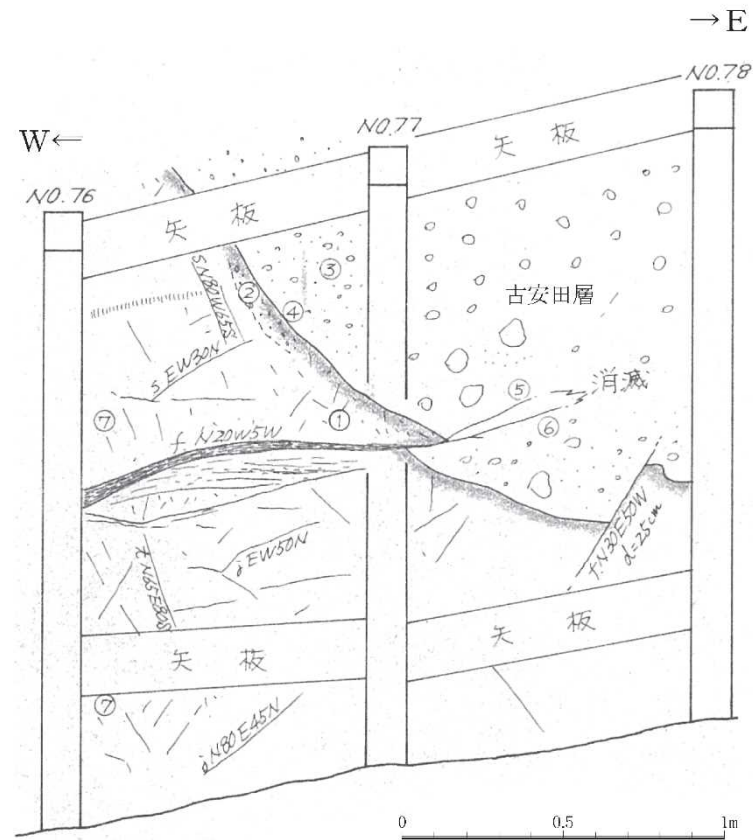
# 断層スケッチ位置 33



F<sub>3</sub>断層 (5号炉B-W坑)

# 断層スケッチ位置 34

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.54抜粋



- ① 長さ5~2cmの岩片状, 鏡肌発達
- ② 表面が鏡肌を呈する径1cmの亜角礫, 軟質化
- ③ 基質に砂を含む泥岩礫層(古安田層)
- ④ N10E40~50S  
境界面に鏡肌が発達するが, 連続性は悪い
- ⑤ N20W35W 粘土は伴わない, 20cm連続
- ⑥ N5W30W 粘土は伴わない, 25cm連続
- ⑦ 長さ5~10cmのブロック状

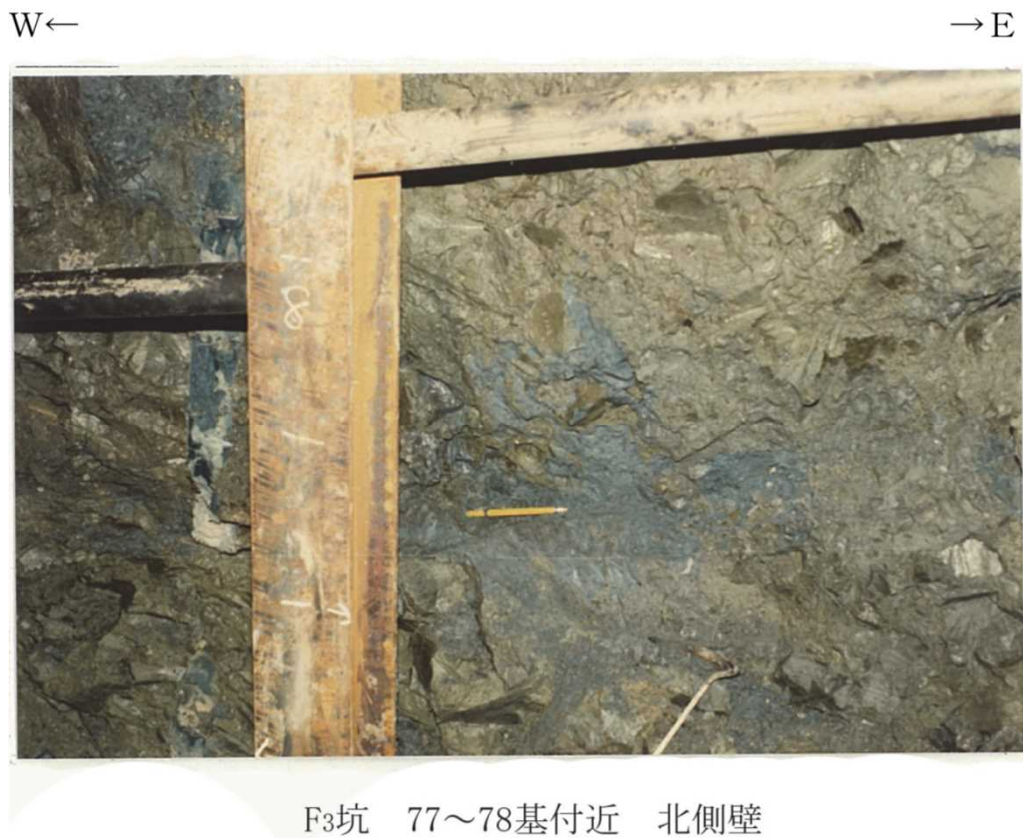
凡例

f	: 断層
s	: せん断性節理
t	: 引張性節理
j	: 識別不能の節理
d	: 変位量(cm)

F<sub>3</sub> 断層 (F<sub>3</sub> 坑北側壁76~78 基)

# 断層スケッチ位置 34

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.55抜粋

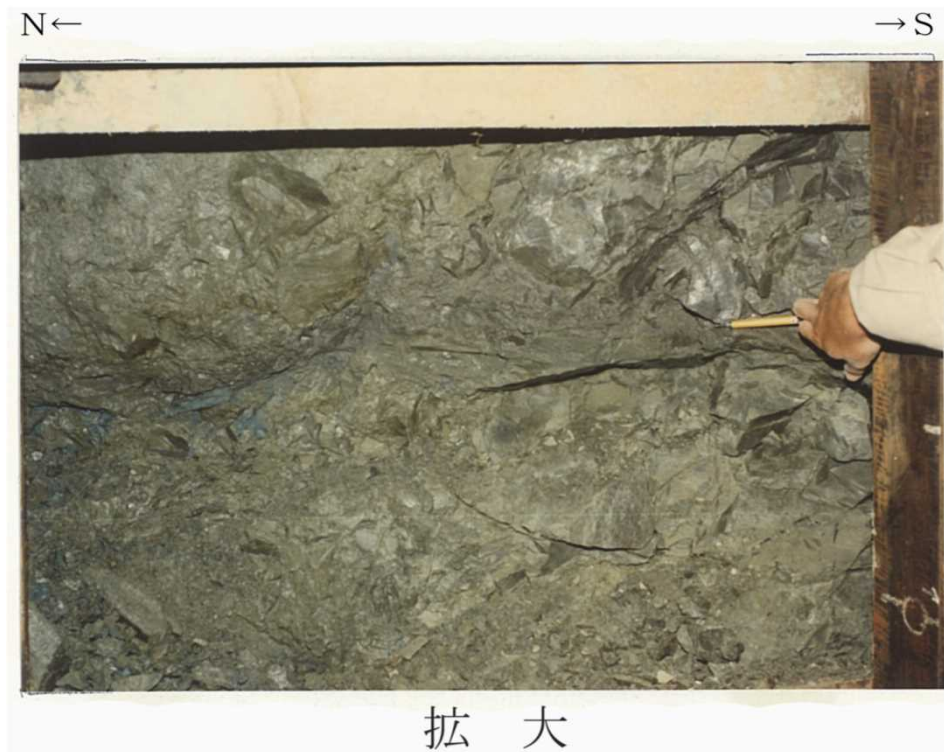
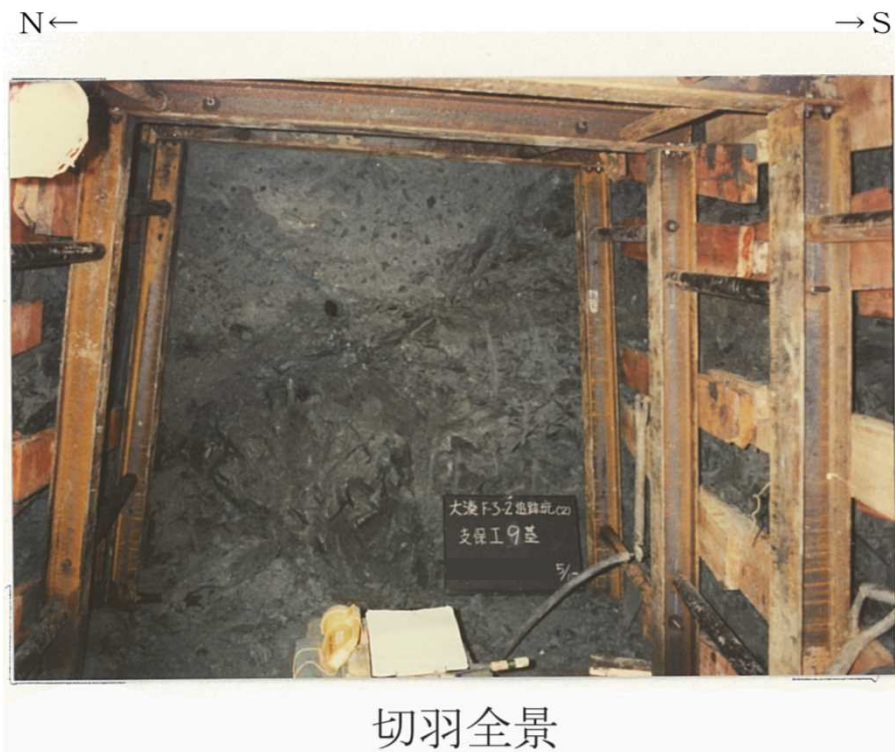


F<sub>3</sub> 断層 (F<sub>3</sub> 坑77~78 基付近北側壁)



# 断層スケッチ位置 34

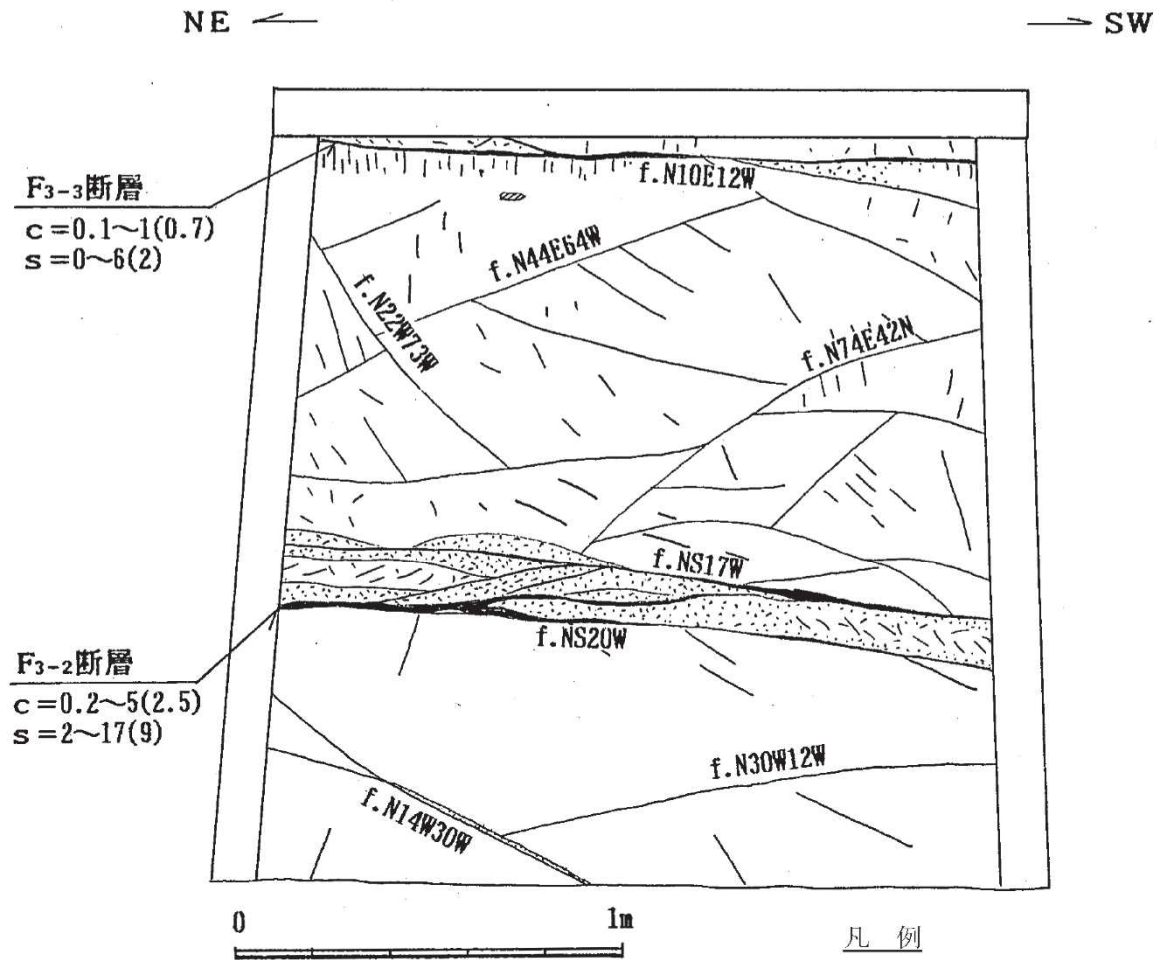
2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.57抜粋



F<sub>3</sub> 断層 (F<sub>3</sub> 坑最終切羽)

# 断層スケッチ位置 35

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.58抜粋



F <sub>3</sub> 断層	
粘土幅 c (cm)	破碎幅 s (cm)
0.1~5.0	0~17

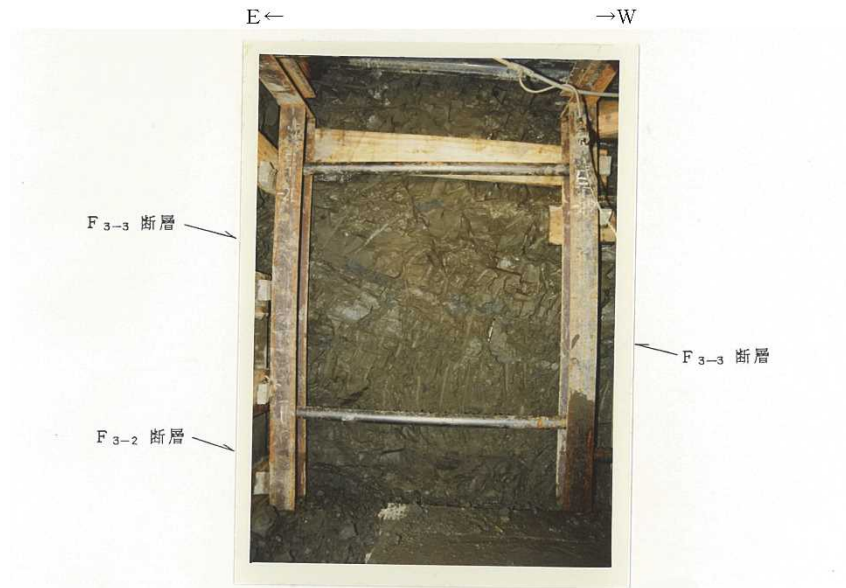
凡例

f : 断層
c : 粘土幅 (cm)
f : フィルム状
s : 破碎幅 (cm)

F<sub>3</sub> 断層 (6号炉B-E坑最終切羽 (30基目))

# 断層スケッチ位置 35

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.59抜粋



6号炉 B-E坑 南側壁 27~28基



同上 接写 (F<sub>3-3</sub> 断層)

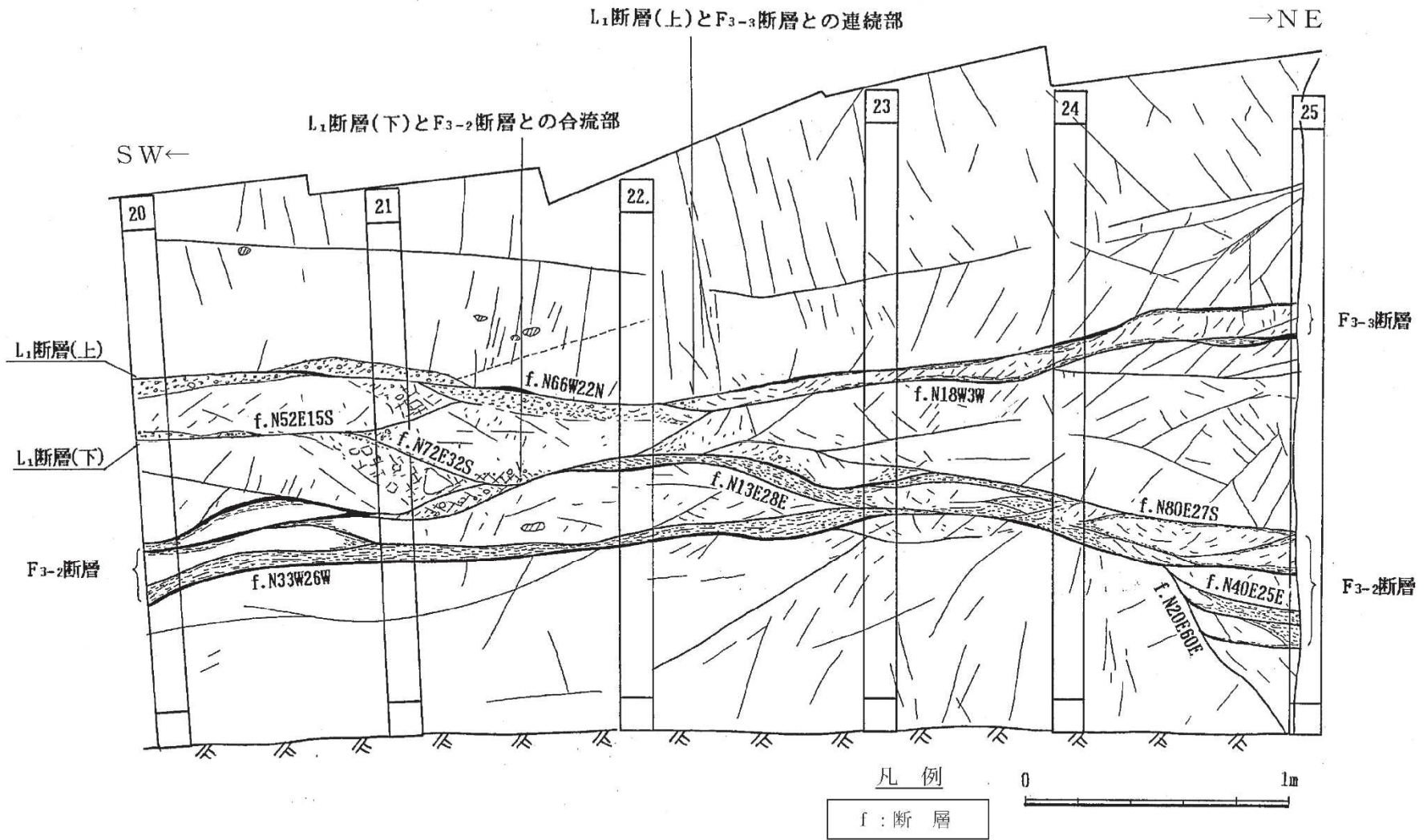
破碎部は土砂状~細片状を呈する。上部に厚さ 0~10mm 程度の黒色粘土を挟在する。

F<sub>3</sub> 断層 (6号炉B-E坑南側壁)



# 断層スケッチ位置 35

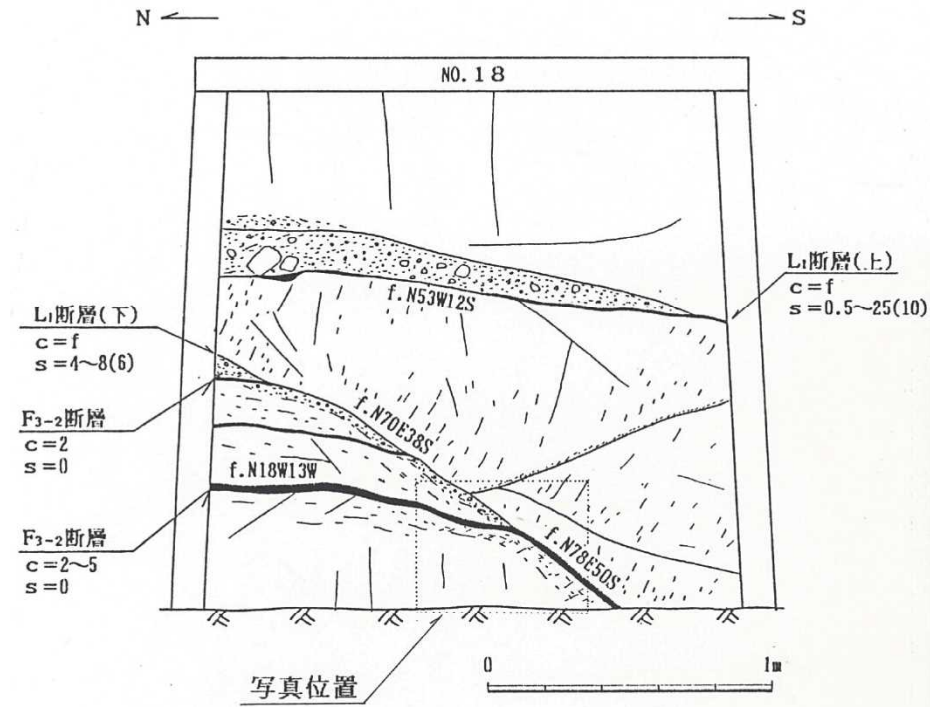
2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.60抜粋



L<sub>1</sub>断層とF<sub>3</sub>断層の関係 (6号炉L1坑北西側壁)

# 断層スケッチ位置 35

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.62抜粋



- 凡例
- f : 断層
  - c : 粘土幅 (cm)
  - f : フィルム状
  - s : 破碎幅 (cm)

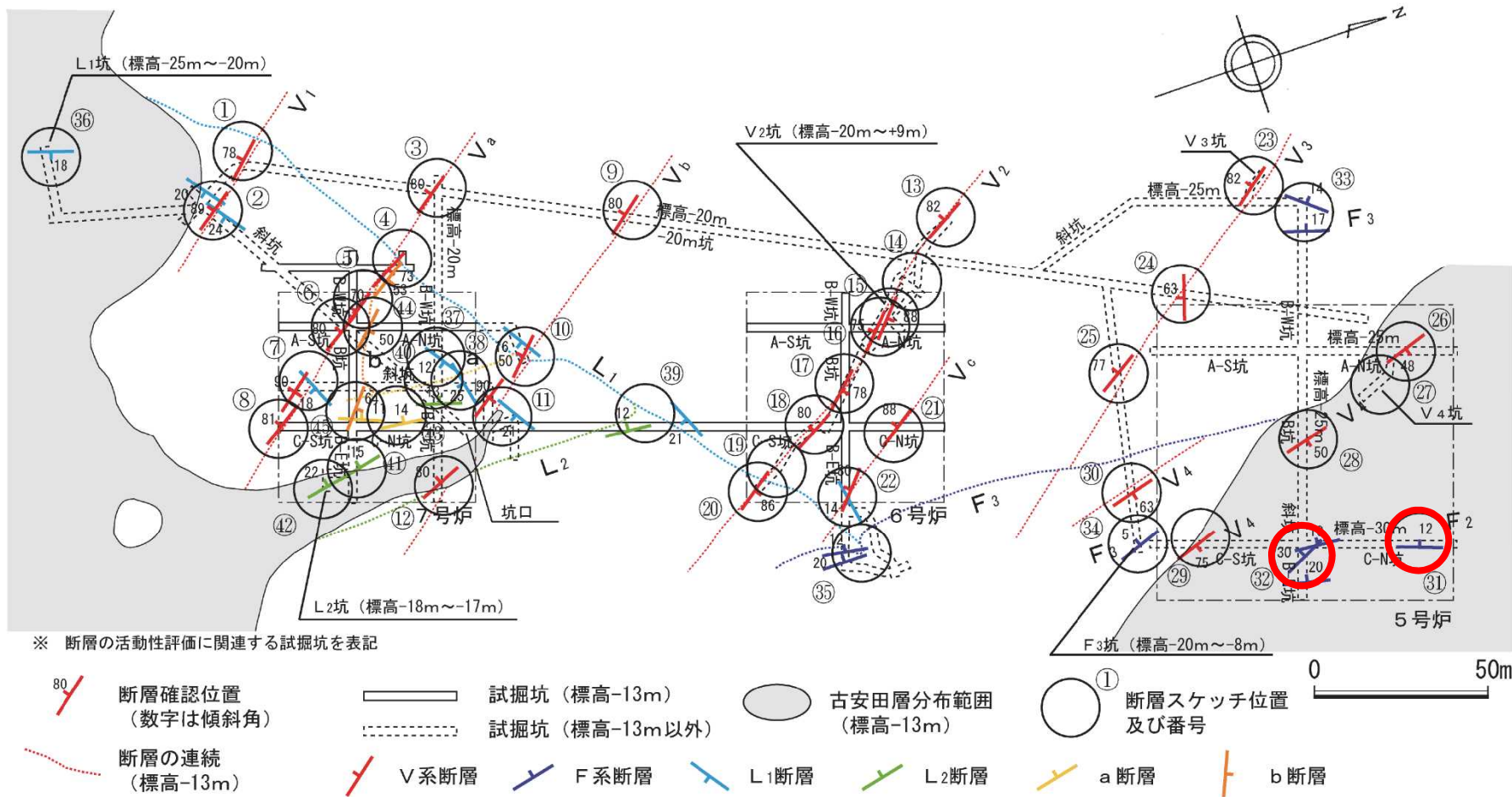
F <sub>3</sub> 断層	
粘土幅 c (cm)	破碎幅 s (cm)
2.0~5.0	0



L<sub>1</sub>断層(下)によりF<sub>3-2</sub>断層は变形させられているが、粘土は連続している。

L<sub>1</sub>断層とF<sub>3</sub>断層の関係 (6号炉L1坑18基目切羽)

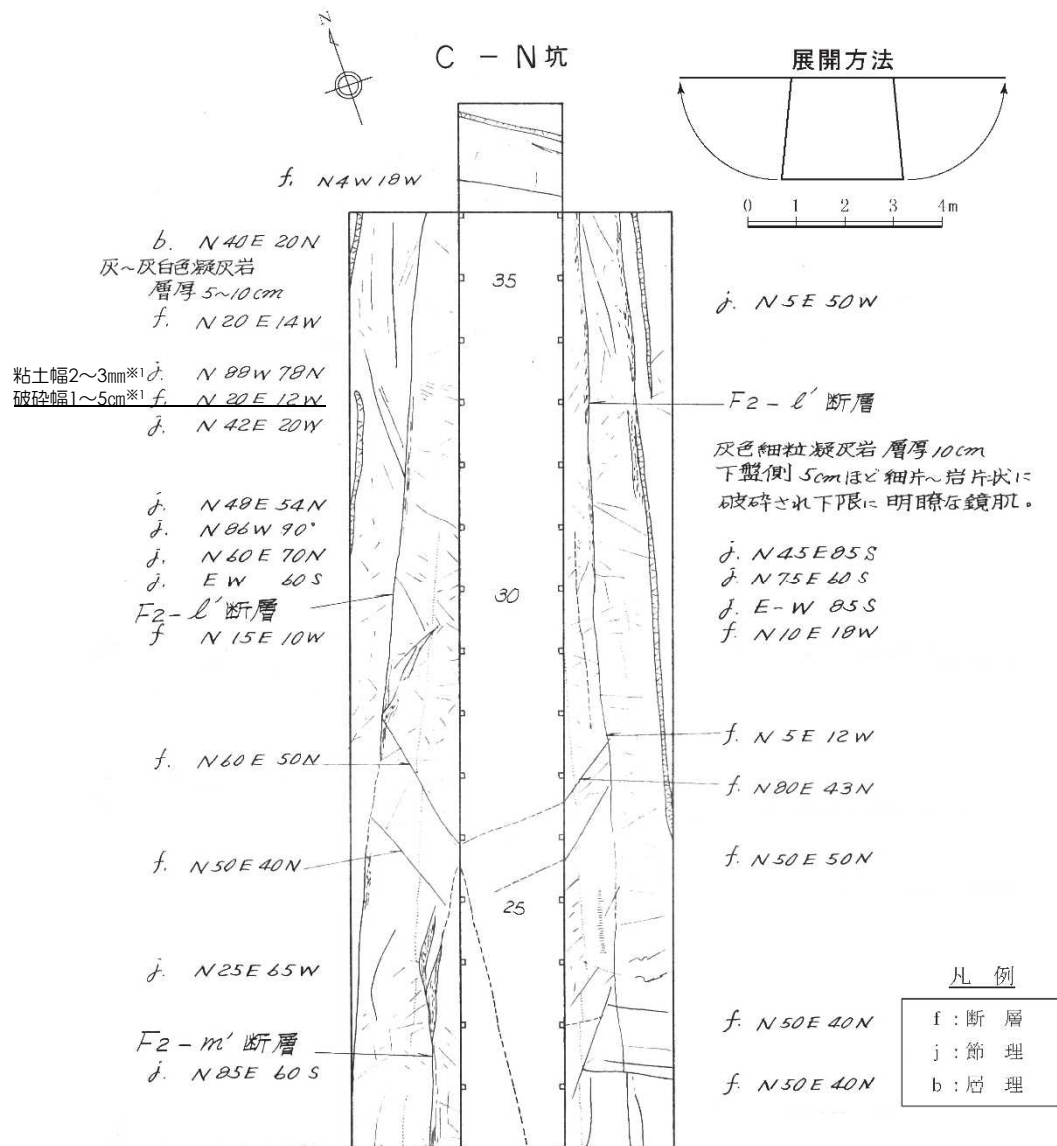
# 断層スケッチ位置 (F<sub>2</sub>断層)



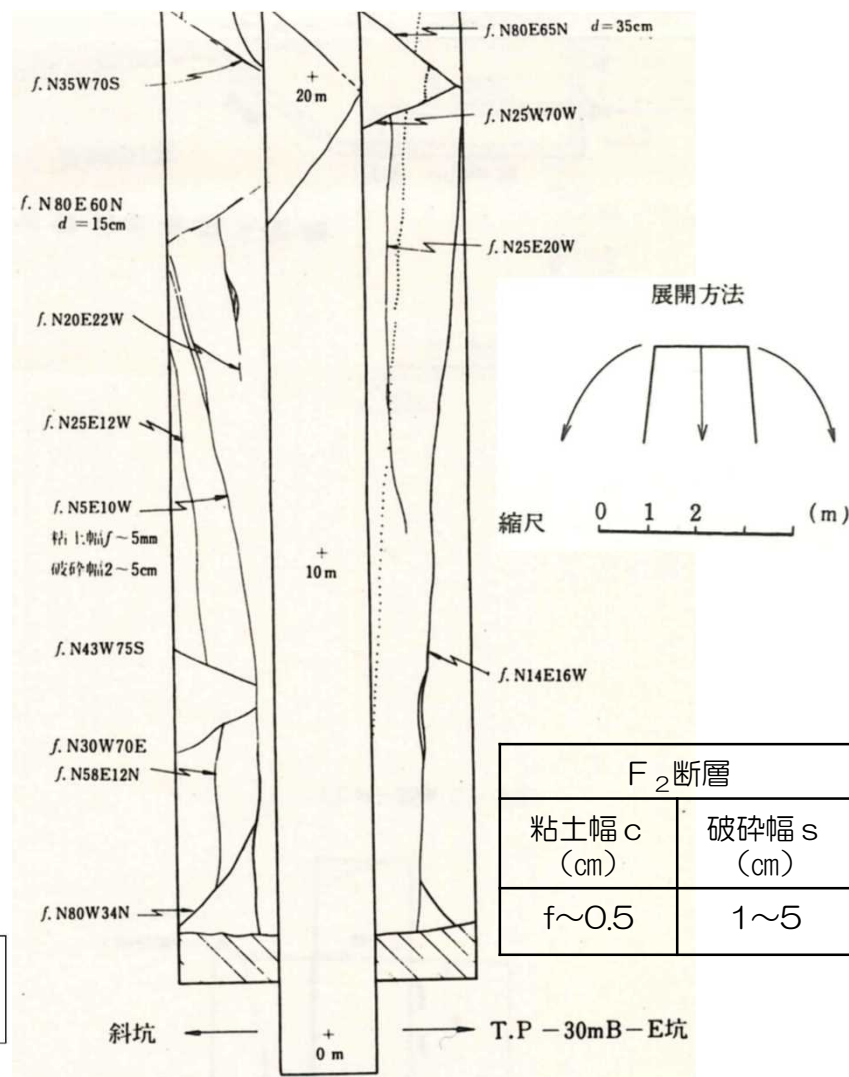
試掘坑調査による断層確認位置図

# 断層スケッチ位置 31

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.51 編集



F<sub>2</sub> 断層 (5号炉C-N 坑西側壁, 21m~36m)

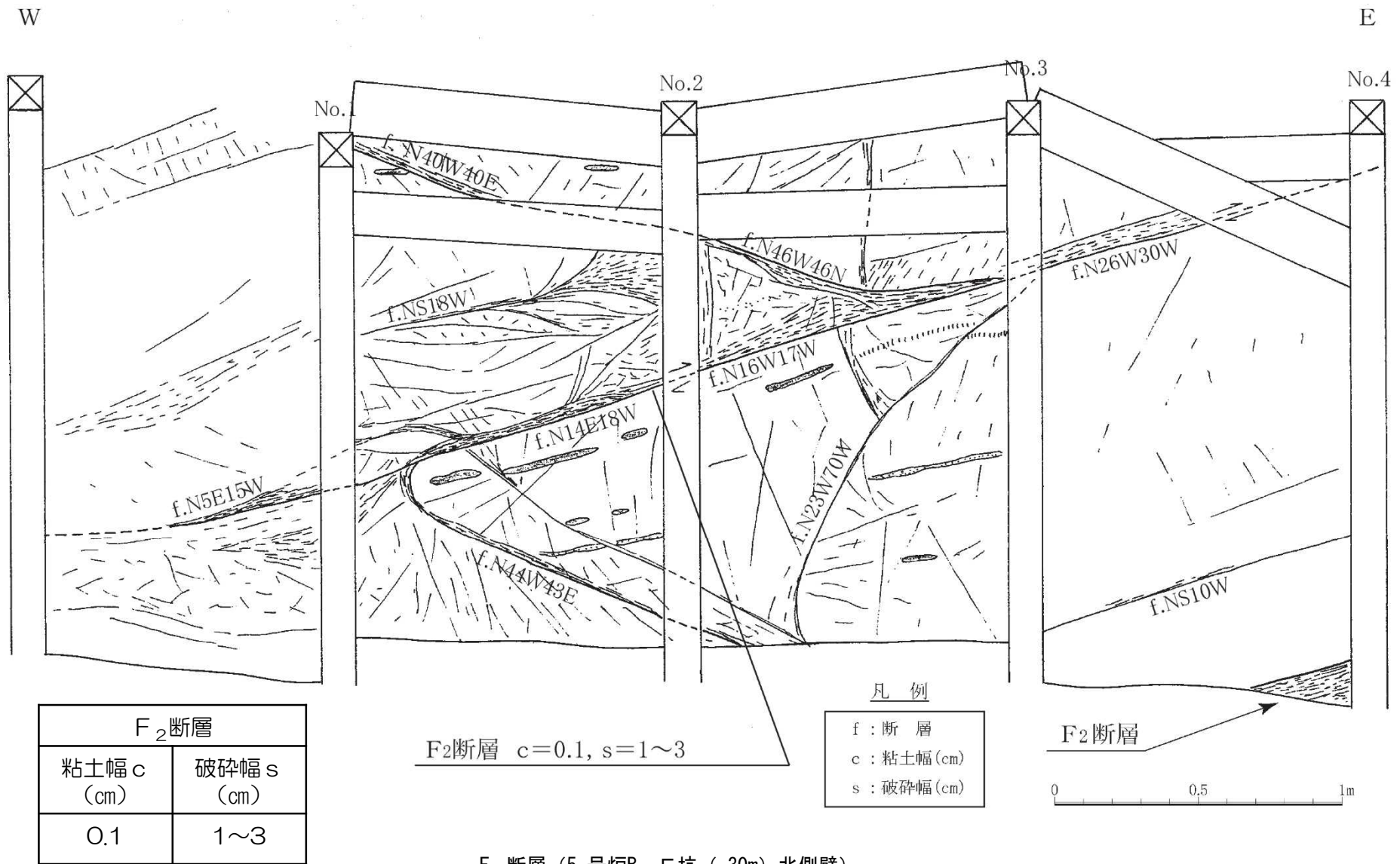


F<sub>2</sub> 断層 (5号炉C-N 坑西側壁, 0m~21m) ※2

※1 柏崎刈羽原子力発電所原子炉設置変更許可申請書の記載を転記  
※2 柏崎刈羽原子力発電所原子炉設置変更許可申請書図を引用

# 断層スケッチ位置 32

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.52抜粋



F<sub>2</sub> 断層 (5号炉B-E坑 (-30m) 北側壁)



# 5号炉基礎基盤全景写真

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.84抜粋



5号炉基礎基盤全景写真（西側から撮影）

# 5号炉基礎基盤全景写真

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.85抜粋

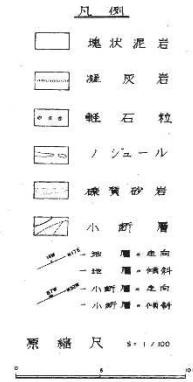
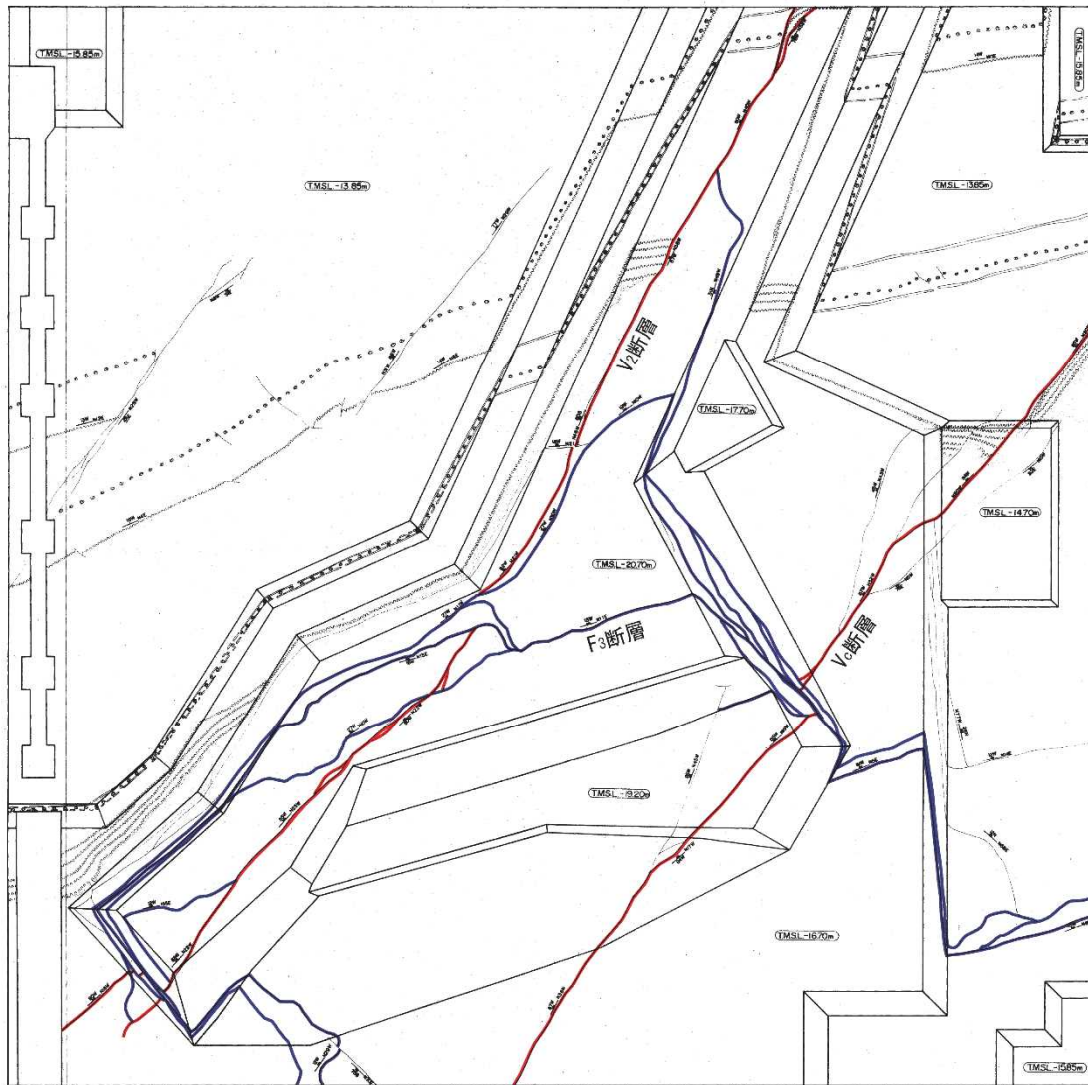


5号炉基礎基盤全景写真（東側から撮影）



# 6号炉基礎基盤地質平面図

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.86抜粋

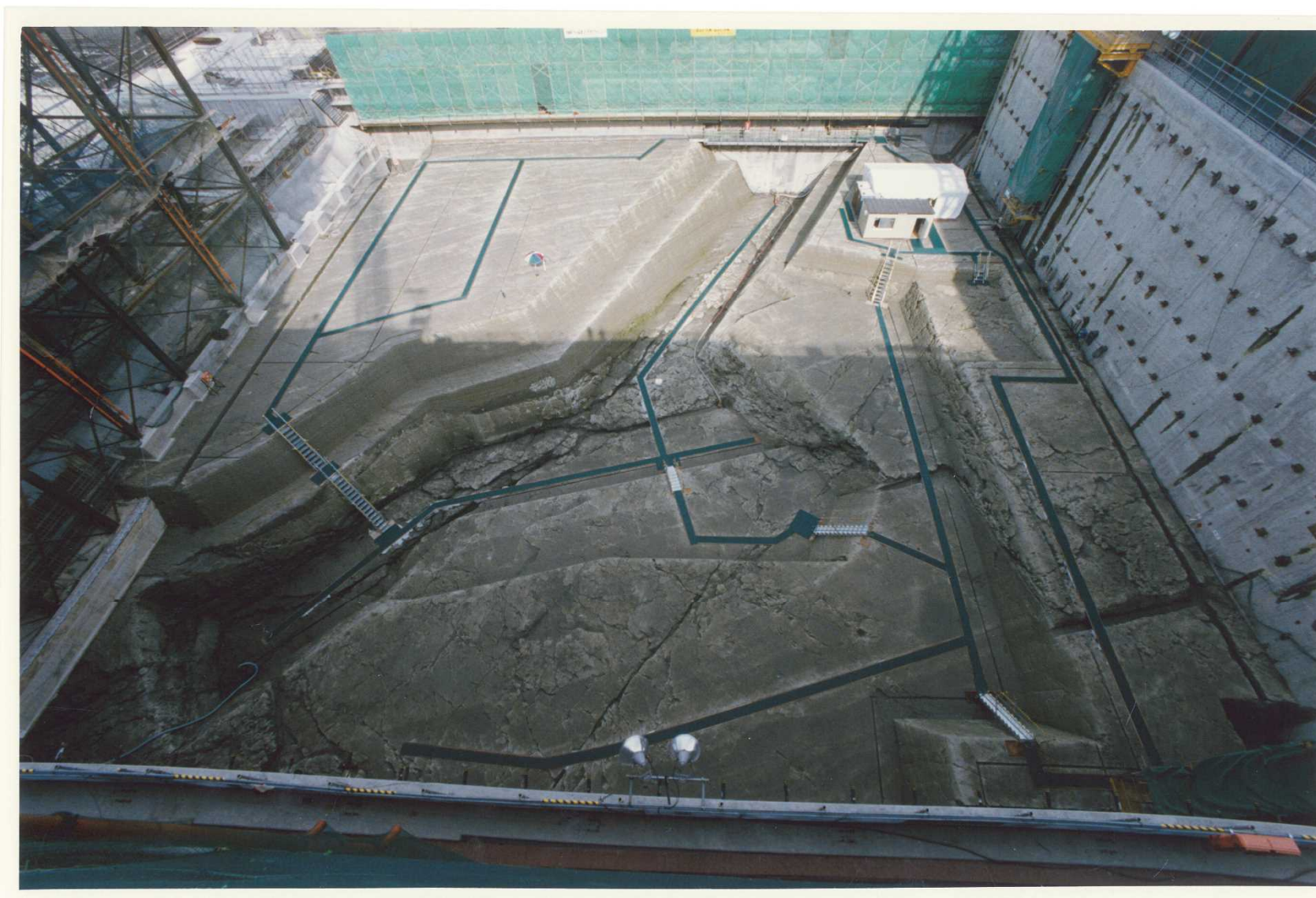


平成4年7月岩盤検査  
東北通商産業局公益事業部発電課へ提出  
(提出版は縮尺 1/100。主要断層を着色し断層名を加筆)

6号炉基礎基盤地質平面図

# 6号炉基礎基盤全景写真

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.87抜粋



6号炉基礎基盤全景写真（東側から撮影）

# 6号炉基礎基盤全景写真

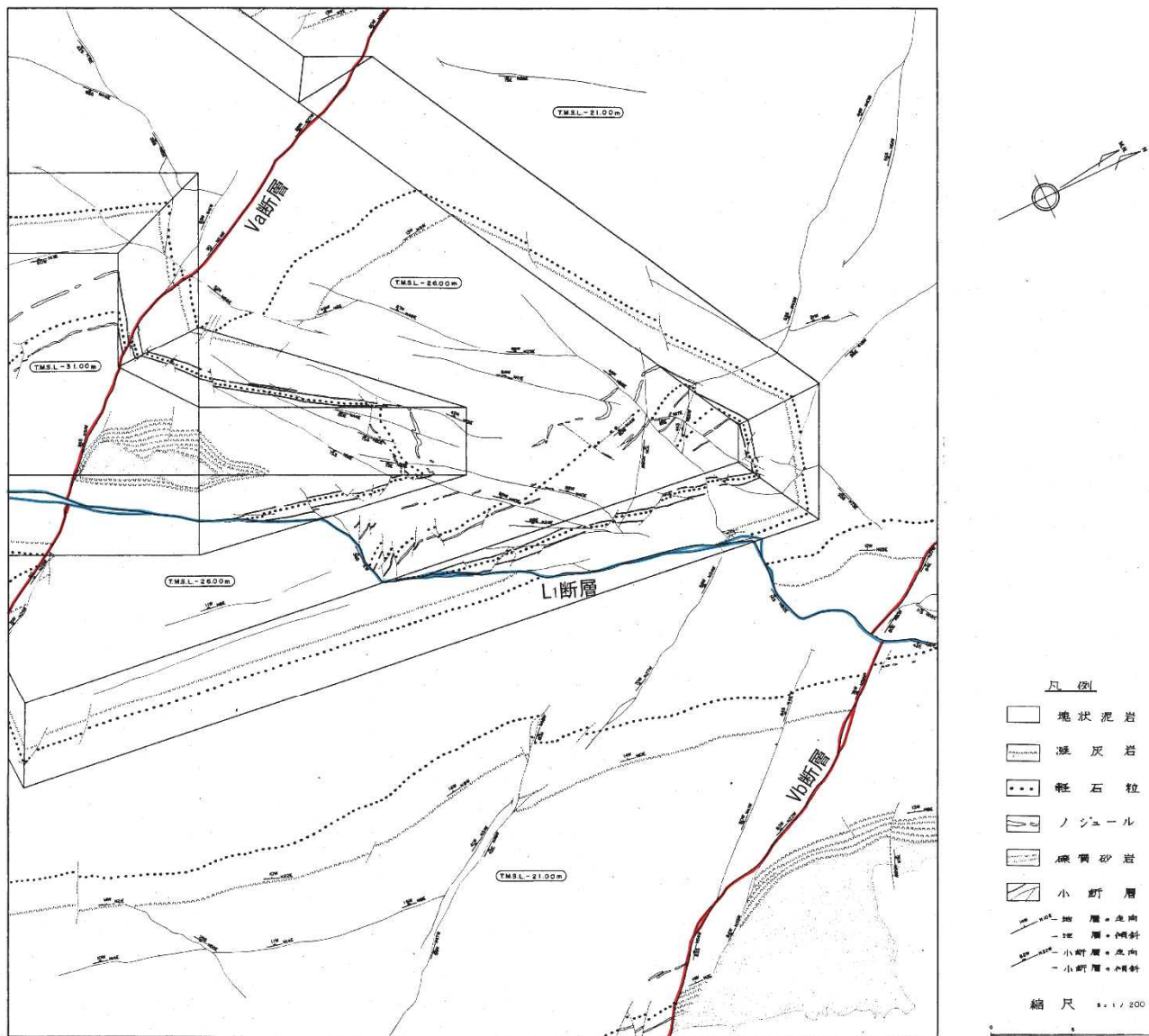
2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.88抜粋



6号炉基礎基盤全景写真（北側から撮影）

# 7号炉基礎基盤地質平面図

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.89抜粋

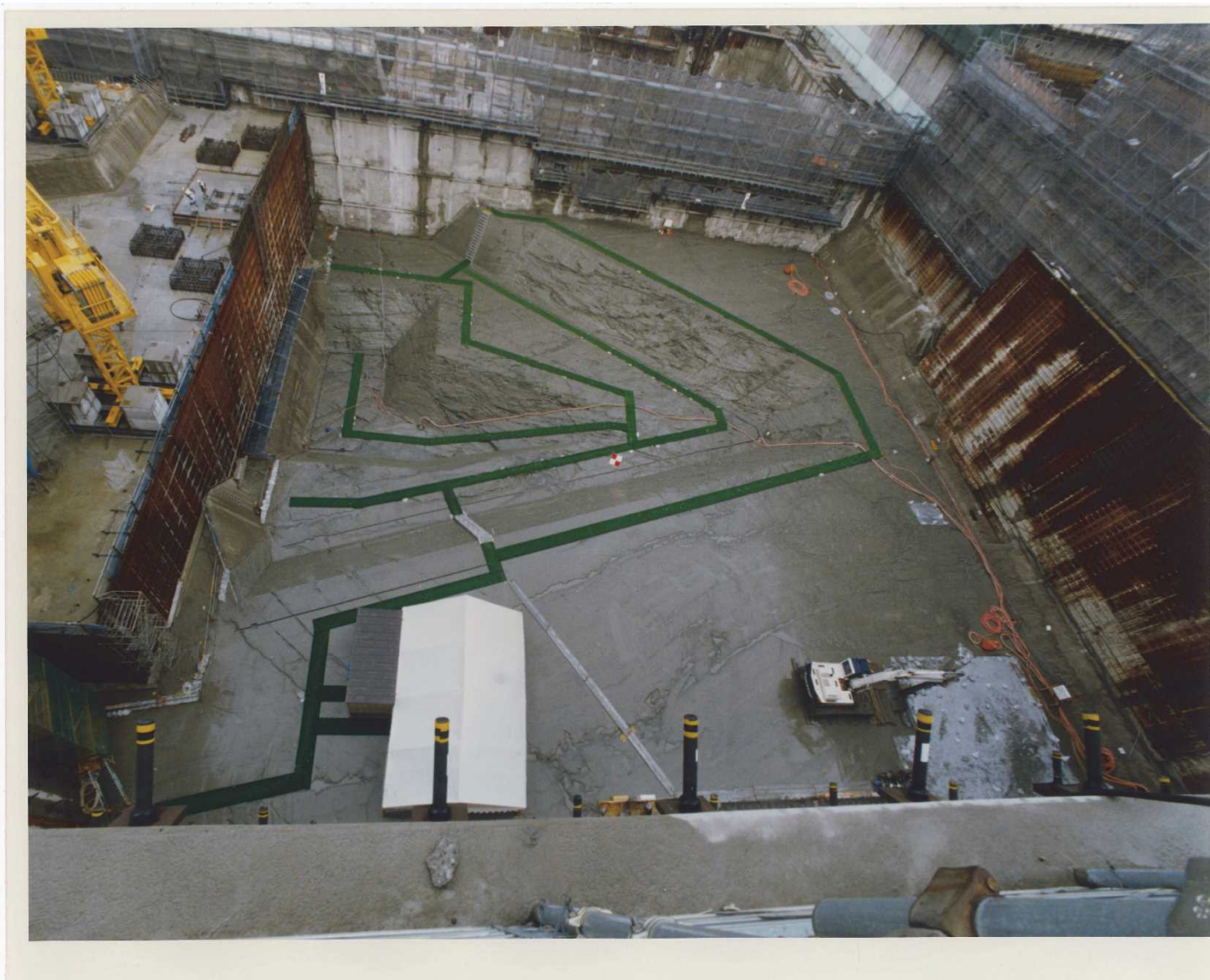


7号炉基礎基盤地質平面図

平成5年3月岩盤検査  
東北通商産業局公益事業部発電課へ提出  
(提出版は縮尺 1/100。主要断層を着色し断層名を加筆)

# 7号炉基礎基盤全景写真

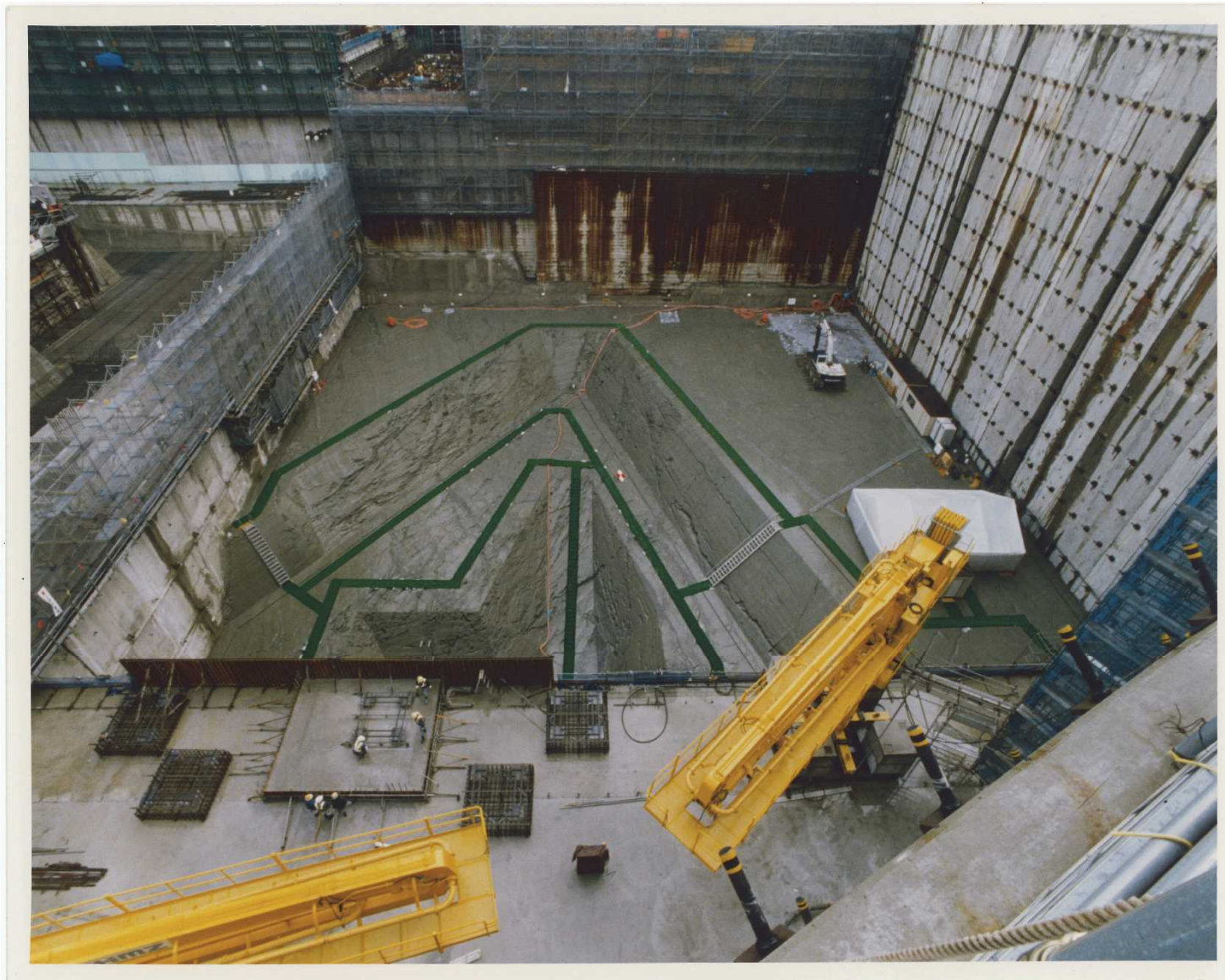
2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.90抜粋



7号炉基礎基盤全景写真（東側から撮影）

# 7号炉基礎基盤全景写真

2013/12/4 ヒアリング  
参考資料2 P.91 抜粋



7号炉基礎基盤全景写真（南側から撮影）